



ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社

2025年9月期 決算説明資料

2024年10月1日～2025年9月30日



1 2025年9月期の経営成績（損益計算書）

牧場施設のリニューアル・グランドオープン効果を主因に増収、人件費・減価償却費・システム開発等の営業費用増加を吸収して増益
⇒中期経営計画最終年度の目標を1年前倒して達成

（単位：百万円、百万円未満切り捨て）

◆中期経営計画の進捗

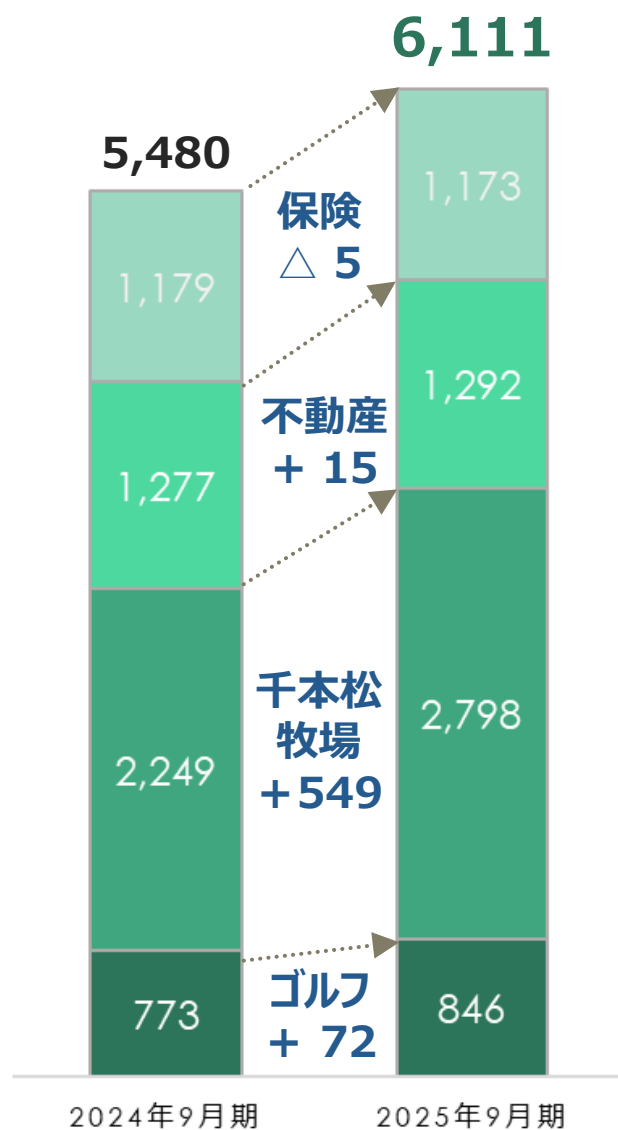
	2024年 9月期	2025年9月期	前期比
営業収益	5,480	6,111	+631
営業原価	4,184	4,672	+487
営業総利益	1,295	1,439	+143
一般管理費	723	822	+98
営業利益	571	616	+45
会員権消却益	125	133	+8
経常利益	724	734	+10
固定資産 除売却損	343	62	△281
当期純利益	308	497	+189

	2025年9月期		中期経営計画 最終年度 (2026年 9月期)計画	2026年9月期 業績予想
	計画	実績		
営業収益	5,800	6,111	5,500	6,200
営業利益	550	616	600	630
減価償却	450	452	—	520
EBITDA	1,000	1,069	1,000	1,150

・ゴルフ場の減損損失 321
・牧場レストラン・売店リニューアルに伴う旧施設の除却・取り壊し 22

牧場レストラン・売店リニューアルに伴う旧施設の除却・取り壊し 62

2 2025年9月期 セグメント別営業収益



保険事業

- お客様に寄り添ったコンサルティングを推進
- 生命保険分野では新たなご契約が増加するも、前期に損害保険分野において大口のご契約をいただいたことの反動から減収

不動産事業

- 入居率はほぼ満室で安定的に推移
- 2023年11月に新たに取得した物件（西大井）の賃料収入が寄与

千本松牧場

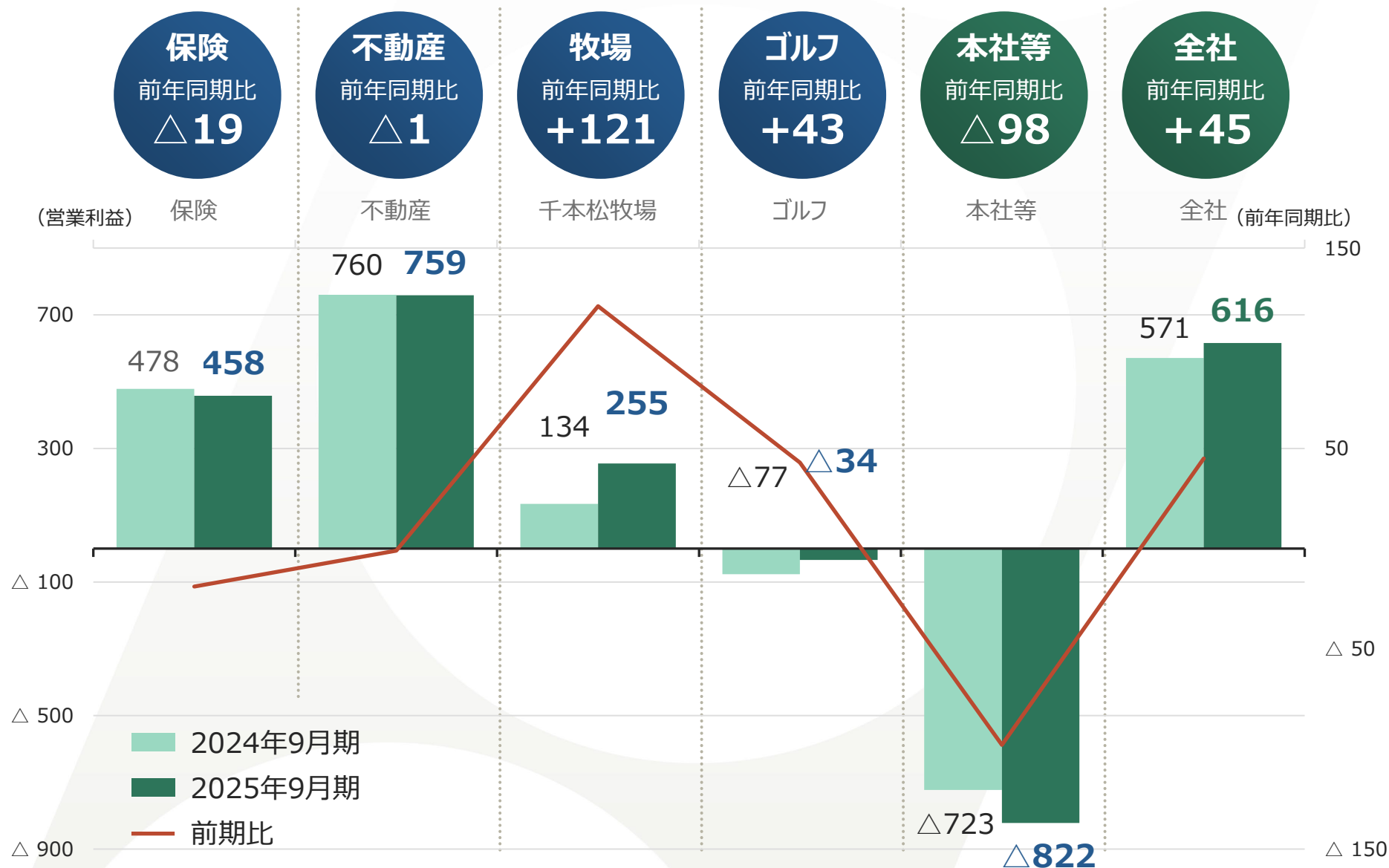
- 2024年10月にレストラン・売店棟をリニューアルオープン、2025年4月にテラスを新設してグランドオープンを迎え、ご来場者・売上は大幅に増加
- 牧場外のソフトクリームショップが好調
- 外販営業は他社との協業に積極的に取り組み

ゴルフ事業

- コースコンディションの維持・向上に注力
- SNS活用・魅力あるプランご案内等の積極的な情報発信
- 売店品揃え・レストラン食事の改善、接遇の向上

3 2025年9月期 セグメント別営業利益

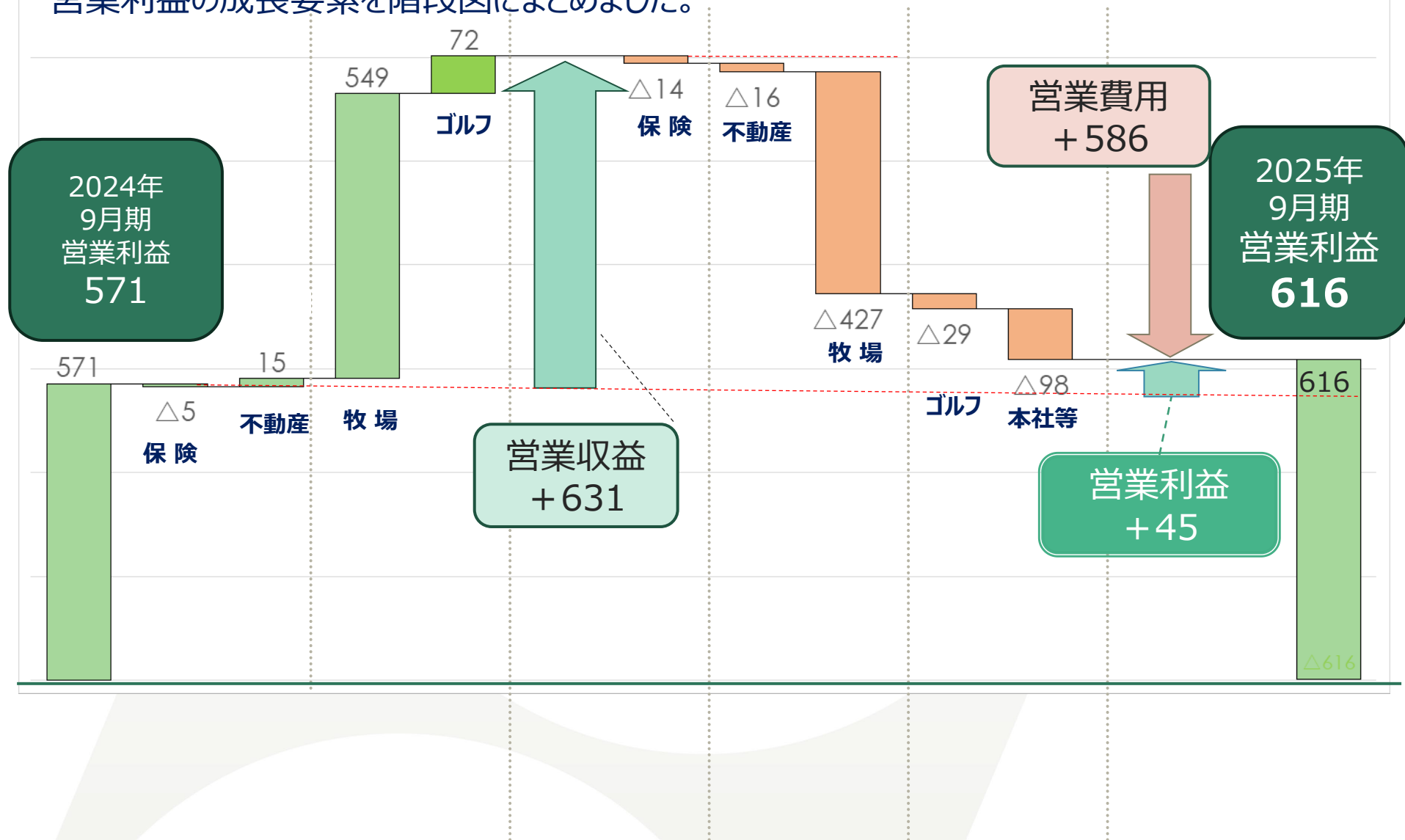
(単位：百万円、百万円未満切り捨て)



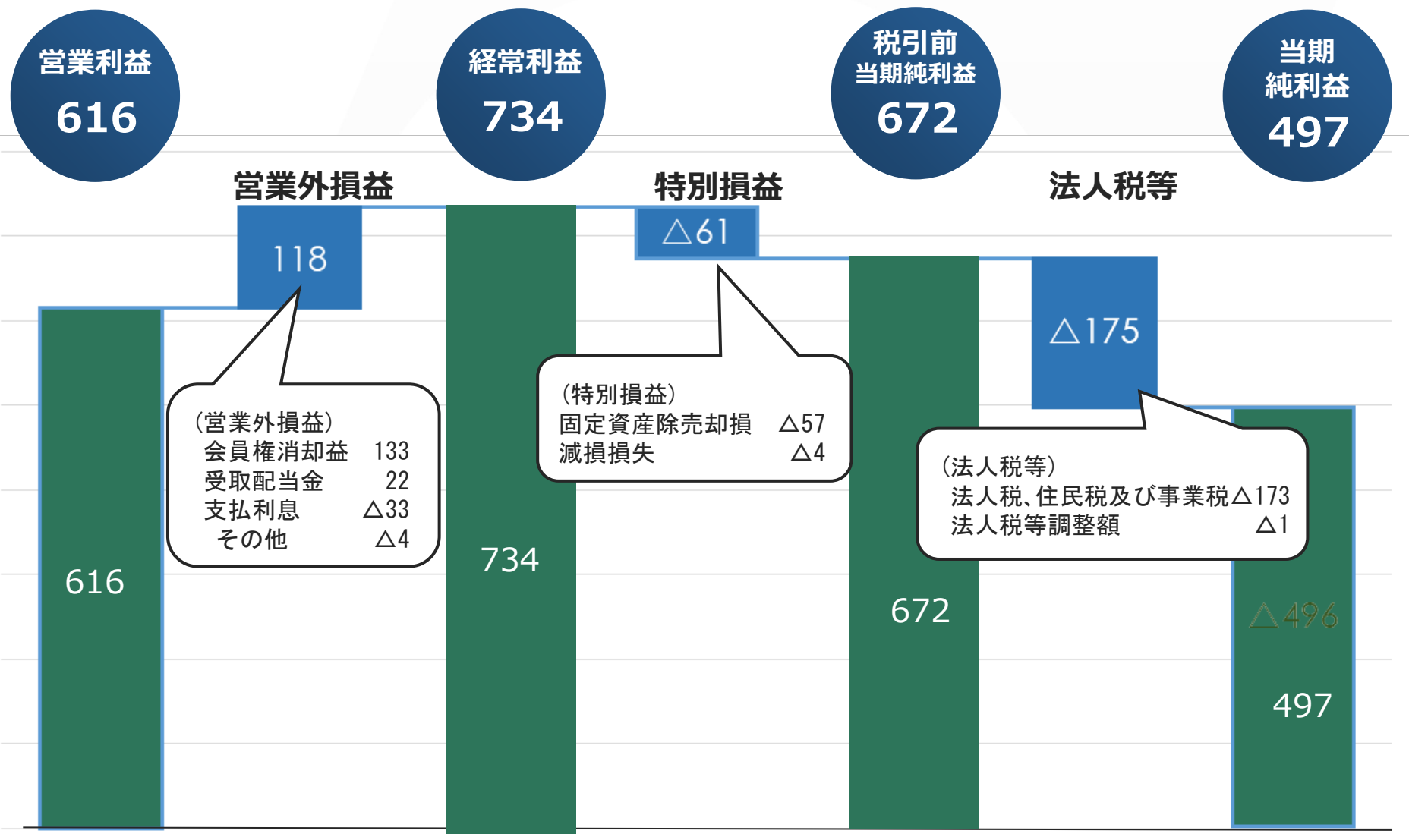
4 2025年9月期 営業利益の増減要因

営業利益の成長要素を階段図にまとめました。

(単位: 百万円、百万円未満切り捨て)



(単位:百万円、百万円未満切り捨て)



（単位：百万円、百万円未満切り捨て）

	2024年 9月期	2025年9月期	前期比
資産合計	19,799	19,706	△92
流動資産	3,122	2,753	△369
現金及び預金	2,399	1,940	△459
固定資産	16,677	16,953	+276
負債合計	10,419	9,842	△577
流動負債	1,771	1,507	△264
保険会社勘定	79	122	+43
固定負債	8,647	8,334	△313
長期預り保証金	5,399	5,175	△224
長期借入金	2,979	2,858	△120
純資産合計	9,379	9,865	+485
自己資本比率	47.4%	50.1%	2.7%

営業キャッシュフロー +938
 投資キャッシュフロー △1,095
 財務キャッシュフロー △346
 保険会社勘定 +43

設備投資 +1,355
 建設仮勘定 △720
 減価償却 △443
 除売却 △64
 投資有価証券 +122

未払金 △372
 未払費用 +38
 賞与引当金 +15
 未払消費税等 △20

当期純利益 497
 配当 △91
 有価証券評価差額 79

7 2025年9月期 キャッシュフローの状況

(単位: 百万円、百万円未満切り捨て)

	2024年 9月期	2025年 9月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	734	938	+203
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,080	△1,095	△14
財務活動による キャッシュ・フロー	173	△346	△519
現金及び現金同等物 の増減額	△172	△502	△330

税前当期純利益 672
 減価償却費 452
 法人税等支払 △195
 未払費用 38

固定資産取得 △729
 設備未払支払 △339

配当金支払 △91
 入会預り保証金の返還 △111
 長期借入金返済 △120

	2024年 9月末	2025年 9月期	増減
現金及び現金同等物 の残高	2,320	1,817	△502

8 今後の見通し (1) 成長プロセス計画

三つのフェーズの成長プロセスに基づき中期経営計画を策定し「健全経営の基盤強化と永続的で強靱な経営体質の構築」を目指します。

持続的な企業価値向上に向けた成長プロセス (再構築～基盤整備～更なる成長)

投資家・ステークホルダー等の期待に応え得る、
投資魅力のある企業への成長に資する経営基盤を確立する

設立100周年

▼ (2028.1.16)

【それ以降の中計】2027/9期～

第三フェーズ

更なる成長への挑戦

【現中計2026】2024/9期～2026/9期

第二フェーズ

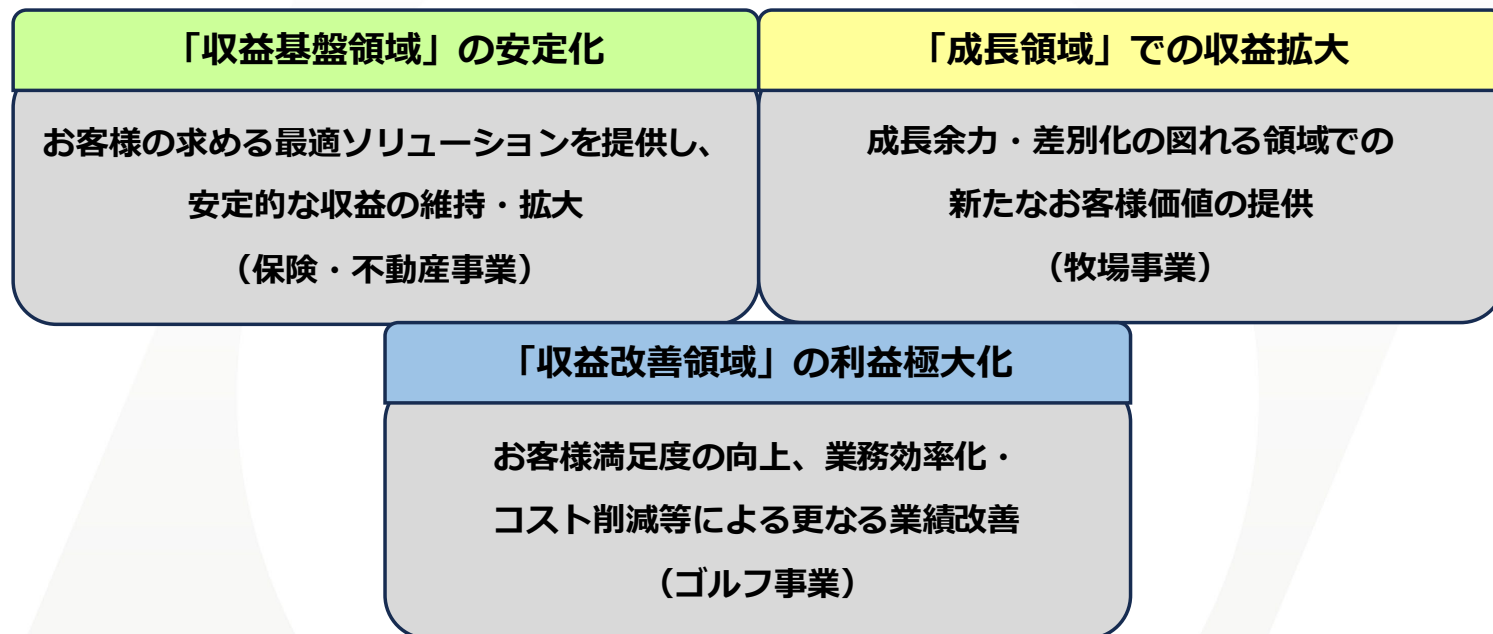
成長モデルへ転換のための基盤整備

【前中計】2021/9期～2023/9期

第一フェーズ

既存ビジネス・利益基盤の再構築

第二フェーズ「中期経営計画2026」(2024年9月期～2026年9月期)の目指す姿
～ブランド価値向上による成長モデルへの転換のための基盤整備～



＜経営を支える基盤＞

- 事業運営を通じたサステナブル経営（環境、社会、経済への貢献）
- DX戦略の推進（お客様満足度と生産性向上の両立等）
- 人的資本への戦略的投資
- 豊かな自然資本の整備
- コンプライアンス・ガバナンスの強化

主要施策における共通概念

経営基盤の強化と持続的成長を実現し「企業価値の向上」を目指す

- 1 事業環境の変化を踏まえた収益基盤の強化、成長領域への事業拡大
- 2 お客様との対話を通じた「満足度の高い商品・サービスの提供」
- 3 DX推進による「お客様満足度」と「生産性(業務効率化)」の向上
- 4 当社の最大の強みである「質の高いお客様基盤」の有効活用と更なる拡充
- 5 ビジネスモデル変革の原動力となる人材の育成
- 6 「環境・社会・経済への貢献」と「企業価値向上」の両立

保険事業

リスク管理の専門家としての「特色あるプロの保険代理店」としてお客様に寄り添ったコンサルティングを推進、総合提案力を強化し、サステナブルな成長の実現を目指します

- リスク管理パートナーとしての総合提案力の強化
- 専門知識を持つスペシャリストの育成
- 継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化

不動産事業

テナント様・入居者様へ「安心安全」かつ「快適」な空間を提供いたします

- 適切な設備更新・改修投資の実施による賃貸不動産の利便性・快適性・安心安全の維持向上
- 専門性を更に強化した業務体制の構築
- 優良資産の取得、ポートフォリオの見直し、新規事業への展開
- 千本松地区における資産の有効活用と営繕・保全管理の強化

千本松牧場

PURE MILK FARM のコンセプトの下、環境に優しい牧場づくりと競争力強化を図り、安心安全で美味しい商品展開と外販営業の強化に取り組んでまいります

- 観光施設での地域連携を重視したイベントや牧場内の施設改善等により、グランドオープン以降の来場者増加トレンドの維持および強化
- 外販営業でのソフトクリーム外部店舗の出店推進、ネット販売の強化
- 「循環型酪農」の高度化等、自然資本を活用したSDGsへの取り組み継続

ゴルフ事業

ご来場者様に楽しく・心地よい時間をお過ごしいただけるよう、基本的な取り組みを深化させ、営業利益の黒字転換と安定的な利益基盤の構築を目指します

- コースコンディション、接遇、レストランメニュー等の一層の向上によるゴルフ場の魅力アップ、サービスや特典の充実
- 情報発信力の強化によるブランド価値の向上とご来場動機の増進

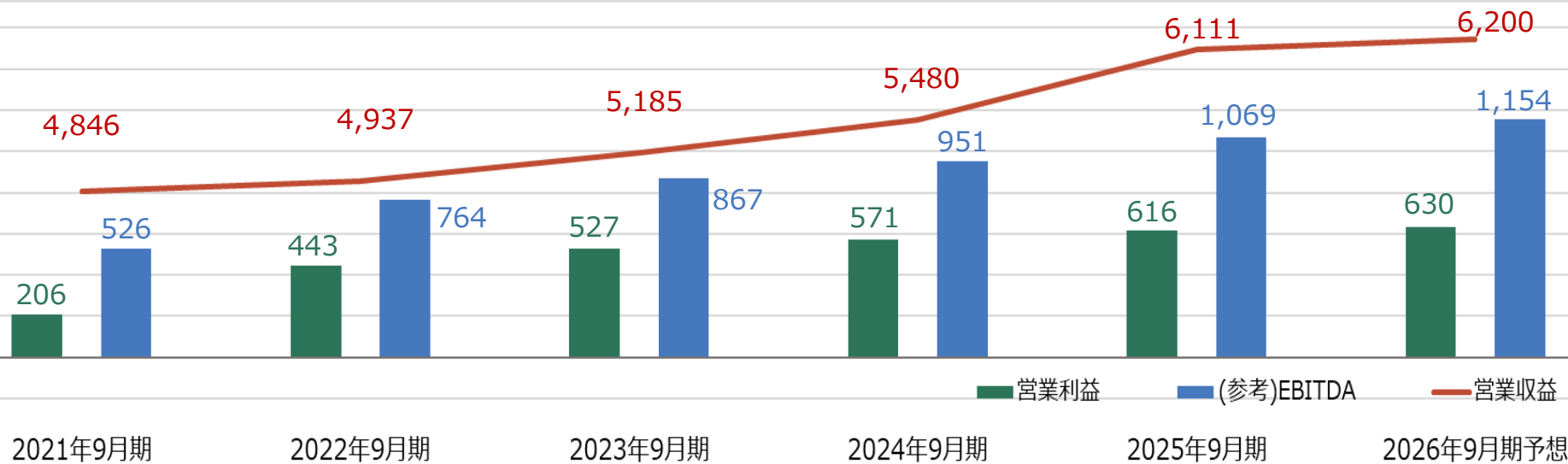
営業収益・営業利益・EBITDAとも、中期経営計画最終年度の目標を2025年9月期に**1年前倒しで達成**。

⇒中計最終年度である2026年度9月期は、「更なる成長」に向けた体制整備の期との位置づけ

- 営業収益：前期比+89百万円の増収（業容の維持・拡大）
- 営業利益：前期比+14百万円の増益（コスト上昇をカバー）

（単位：百万円）、百万円未満切り捨て

	2024年 9月期実績	2025年 9月期実績	前期比	2026年9月期 業績予想	前期比	2026年9月期 中期経営計画 （最終年度）
営業収益	5,480	6,111	631	6,200	88	5,500
営業利益	571	616	45	630	13	600
経常利益	724	734	10	730	△4	—
当期純利益	308	497	189	500	2	—
参考：EBITDA	951	1,069	118	1,150	81	1,000



12 配当の状況について

- 当社は株主に対する利益還元を経営上の重要政策として認識し、業績の状況、取り巻く環境及び中長期を展望した財務体質を勘案し、継続的かつ安定的に配当を実施することを基本方針としております。
- 当社業績及び今後の経営環境を総合的に勘案し、当期の期末配当を**1株当たり【24】円**といたしました。

	1株当たり配当金	配当金総額	配当性向
	円 銭	百万円	%
2023年9月期	60 (分割考慮20)	83	16.3
2024年9月期	66 (分割考慮22)	92	29.9
2025年9月期	(※) 24.00	100	20.2
2026年9月期 (予想)	24.00	100	17.3

(※)

上記剰余金の配当は、第142回定時株主総会（2025年12月23日開催）に付議致します

- 2024年10月31日の取締役会において、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的に、**株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更**を決議致しました。

- 2025年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を

1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

- 発行済株式総数

分割前： 1,404,000株 ⇒ 分割後： 4,212,000株

- 日 程

- (1) 基準日公告日 2025年3月14日（金曜日）
- (2) 基準日 2025年3月31日（月曜日）
- (3) 効力発生日 2025年4月 1日（火曜日）

- 株式分割に伴い、2025年4月1日をもって、定款第6条の発行可能株式総数を変更いたしました。

※ 株式分割を考慮しない場合の2025年9月期の1株当たり年間配当金は【72】円となります

～地域とつながるあらたな魅力を発信～

新設の“千本松テラス”では四季折々の美しい景色を一望でき、温泉水を利用した“温泉じゃぶじゃぶ池”は、自然の中でくつろげる癒しの空間として誕生します。

また、地元食材等を活かした“千本松オープンカフェ”では、ここでしか味わえないグルメを提供。さらに、地域生産者と連携したマルシェやアートイベントも開催し、新たな発見や交流の場としての役割を強化します。

■グランドオープン 6つのポイント

- ① 那須野が原の自然を一望！春は約200本の桜並木が一望できる開放的な“千本松テラス”



- ② 千本松温泉水を活用した自然の中の新たなランドマーク“温泉じゃぶじゃぶ池”



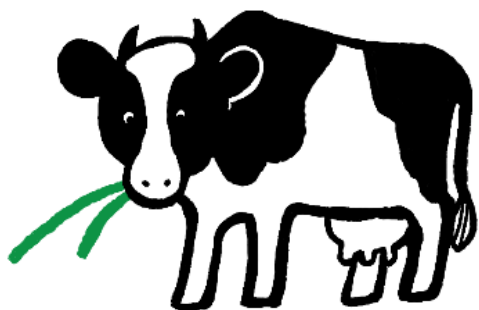
- ③ 地域の美味しさを堪能！キッチンカーやマルシェイベントが楽しめる“千本松オープンカフェ”



- ④ どうぶつふれあい広場やドッグランスペースが進化、お子さまが喜ぶ新エリア誕生



- ⑤ 牧場公式キャラクターの名前がついに決定！
フォトスポット&オリジナルグッズ誕生



【なまえ】セボン



- ⑥ 人気プリンの新フレーバーや新商品が続々登場 ～牧場グルメがさらに充実！



2025年2月28日(金)、埼玉県越谷市にある国内最大級のショッピングモール「イオンレイクタウンkaze」に、埼玉県初出店となる「那須千本松牧場ソフトクリームショップ」をオープンいたしました。

ハウライの直営店舗としては5店舗目。これまでのフードコート内出店とは異なり今回はインショップ（独立型店舗）として展開し、看板メニューの「千本松ミルクソフト」をはじめ、那須千本松牧場のスイーツ、乳製品等 約20種類の商品を取り揃えます。

成長戦略の中核であるソフトクリームショップ事業を通じて顧客接点を拡大し、“PURE MILK FARM”のブランド発信を強化してまいります。



☆☆ 2025年も西那須野カントリー倶楽部で開催いたしました ☆☆



JAPAN PLAYERS CHAMPIONSHIP

by サトウ食品

2025 6.26Thu 27Fri 28Sat 29Sun

主催：ジャパンゴルフツアー選手会(JGTPC) 共催：日本ゴルフツアー機構(JGTO) 特別協賛：サトウ食品株式会社

ABEMA
TV for the Future

開催コース：西那須野カントリー倶楽部(栃木県) 賞金総額：¥50,000,000 / 優勝賞金：¥10,000,000

配信予定：ABEMA 4日間インターネット生配信! 6/26(木)~6/29(日)

大会HP・チケット情報はこちら



本大会は、新型コロナウイルス拡大によるトーナメント減少など、かつてない男子プロゴルフ界の苦境を乗り越えるために、ツアープロたち自らが主導して様々なアイデアや夢を持ち寄って企画し、2021年に第1回大会が開催されました。

2024年大会では、石川遼選手が大会予選の一部期間、ファンサービスの一環としてテレビ放送用のピンマイクをつけながらプレーし、ラウンド中の生の声をお届けするなど、大会実行委員長として大会を盛り上げながら、劇的な逆転優勝を飾りました。

2025年大会も、男子プロの凄さとゴルフというスポーツの楽しさを伝える大会となりました。これからも、多くの皆さんに夢を与える最高の大会を目指してまいります。

千本松牧場が目指してきた、大地と牛と人のやさしい関係、
「きれいなミルク」が生まれるエコサイクル。



POINT 1

大地にやさしい。自然との共生

100 年前から森を大切に育ててきました。牧場から
集めるCO2の多くを敷地内の広大な森林で吸収して
います。



POINT 3

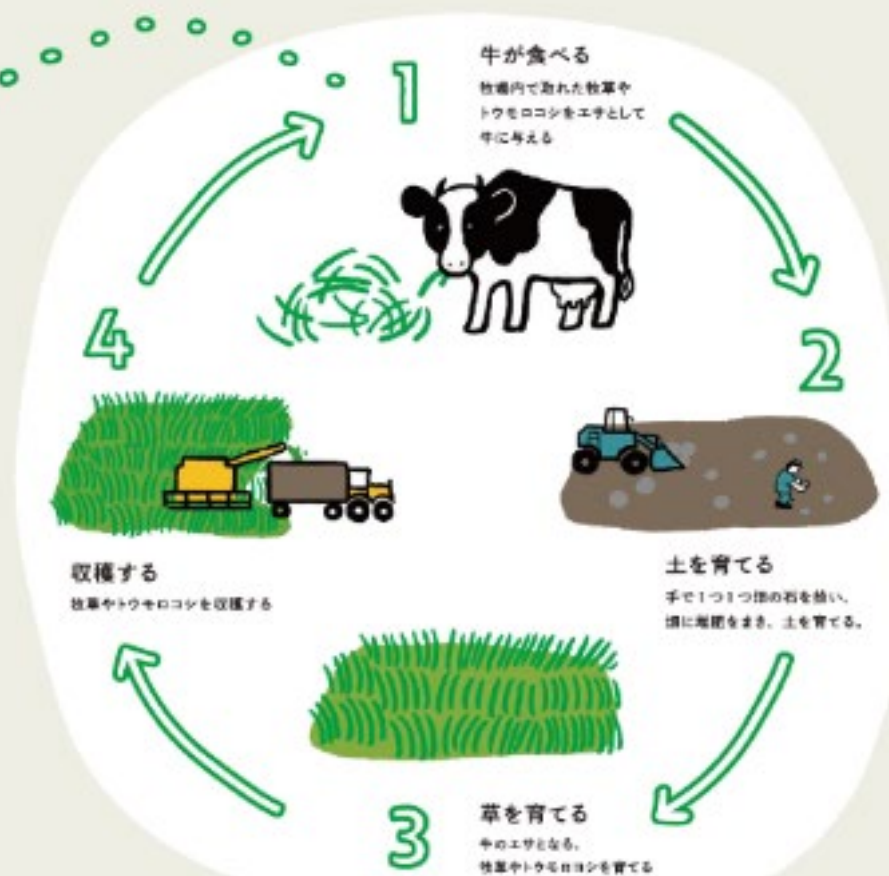
人にやさしい。安心安全な生乳

自然を大切に守りながら、牛の主食となる牧草作り
から、牛乳の製造工程までしっかり管理。安心安全
で、かけがえのない「きれいなミルク」が生まれます。

POINT 2

牛にやさしい。自給自足型の暮らし

主食は、本州最大級の牧草場で自家製の堆肥を用
いて育てた安全な牧草。副食は、牧場の森林でと
れるおが屑を使ったふかふかのベッド。牛さんほ
つたり毎日を過ごしています。



那須千本松牧場が大切にしている循環型酪農の取り組みについて

https://www.senbonmatsu.com/info/JyunkangataRakuno_pamphlet.pdf



現状認識

1. 当社の株主資本コストは、一般的な資本資産価格モデルにより算定すると概ね5～6%程度ながら、中長期的には、8%の水準をターゲットとします。
2. ROEは市場が求める株主資本コストを下回る時期が続きましたが、足許では5%近辺を上回り改善して推移しております。ROEの安定的な一層の向上を目指してまいります。
3. 株価はPBRは0.7～0.8程度と1倍を割れる状況が継続しております。さらなる企業価値向上を実現していくためには、中長期の成長戦略の策定および着実な実行が一層重要と認識しております。

方針・目標

まずは営業利益10億円の水準を目指し（ROE7%程度を達成する水準）、将来的には8%以上を目指してまいります。

具体的な 取組内容

1. 事業戦略

当社にとってROE向上には収益をあげることが有効な策と認識しており、事業ごとの収益性や成長性も勘案して、成長領域における収益拡大計画を策定してまいります。

2. 財務戦略

政策投資株式については、保有の合理性を検証し必要な売却を進めております。足許では純資産の10%未満まで削減しております。

3. 株主還元

利益水準に応じたさらなる株主還元を実施すると共に、株式の流動性を高め投資家層の拡大を図るための株式分割や、株主優待のさらなる拡充にも取り組めます。

4. インセンティブ

また、中長期的な企業価値向上との連動を意識した役員報酬制度の見直しを検討中です。

＜お問い合わせ先＞

ホウライ株式会社 財務企画部

T E L 03-6810-8117

ホームページ <https://www.horai-kk.co.jp/>

